

町田市の介護保険料の引下げを求める請願

請願要旨

町田市は、高い国保税に加えて、介護保険料があまりにも高すぎるという声が多数の人から寄せられています。

介護保険は、3年ごとに策定する介護保険事業計画で3年間の給付費予測を行い、第1号被保険者保険料を算定していますが、町田市は、平成18年度から20年度までの3年間の第3期事業計画の保険基準月額を第2期より1,000円を引上げ4,700円となりました。これは、基準額の人で年間56,400円が年金から引き落とされるものです。

その結果、町田市の介護保険料は、都内平均月額4,102円（加重平均4,090円）よりも約600円も高く、都内（区市部）で一番の高額となっています。

しかも、これにより町田市の介護保険の歳入は、平成17年度175億6200万円に対し、18年度は192億7800万円で、17億1600万円の増となりました。また、19年度の歳入は206億7800万円、歳出192億0100万円で、差引額は14億7600万円の黒字となっています（町田市ホームページより）。

いま、年金が減り、税金や物価が上がっている中で、多くの高齢者の生活が非常に大変になっています。月額1,000円もの介護保険料の引上げが多過ぎたために、15億円近くもの黒字となっているものですから、これを都内平均にまで引下げることが可能であり、市民にとって切実な問題です。

以上により、介護保険料の基準月額を600円程度引下げ、平成21年度から基準月額を4,100円程度とすることを求めるものです。